

平成30年11月22日定例教授会議事抄録

出席者

榊屋所長

青山，池本，板倉，大木，小寺，佐藤，菅，園田，高橋，高見澤，長澤，中島，名和，平勢，松田，真鍋，安富の各教授

秋葉，上原，額定其芳，藏本，鍾，塚本，馬場，古井，米野の各准教授

海外渡航者

黒田教授，池亀，森本の各准教授

議事

11月8日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P6のとおり1件

報告事項

3. 所長報告

榊屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 教育研究評議会（11月13日）

資料P7に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

2) 科所長会議（11月20日）

① 社外取締役兼業の制度化に伴う関係規則の整備

資料P9～15に基づき、社外取締役兼業の制度化に伴う関係規則の整備について報告があった。

② 消費税率の引き上げ

資料P16～19に基づき、2019年10月から実施が予定されている消費税率等の引き上げについて関連する税制上の経過措置について報告があり、年度途中での税率変更となるため、研究費の執行の際に例年と異なる注意が必要となるとの注意喚起があった。

3) 予算委員会（11月20日）

資料P20に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

4) 総長と研究所長・センター長代表者・医学部附属病院長との懇談（11月20日）

同懇談での概要について報告があった。

5) 教員の海外渡航について（報告）

資料P21に基づき、2件追加し、6件を承認した旨報告があった。

6) 委員等・非常勤講師の応嘱について

なし

7) 寄附金の受け入れについて

資料P 2 2のとおり 1 件を承認した旨報告があった。

8) その他

① 1 1 月 8 日に開催した教授のみの教授会において「准教授選考に関する教授会申し合わせ」の今後の運用方針について議論したとの報告があった。

② 1 0 月 1 1 日の教授会において案内を行った平成 3 1 年度復旦大学への教員派遣公募について、希望者は 1 1 月末までに所長宛に申し出るよう再度案内があった。

③ 文系 3 研究所で担当している学術フロンティア講義について、東文研の幹事教員を真鍋教授にお願いすることとしたとの報告があった

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

安富委員長より、所内や構内で危険だと思われる場所や設備不良等に気が付いた際は、事故を未然に防ぐために事務部やインフラ委員会へ情報提供していただきたいとの依頼があった。

2) 財務委員会

松田委員長より、資料P 2 3～2 4に基づき平成 3 0 年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会とも計画的な執行へ協力いただきたいと要請があった。

3) 情報・広報委員会

特になし

4) 研究企画委員会

特になし

5) 図書委員会

大木委員長より、

① 東洋学研究情報センターの事業見直しにより、漢籍整理長期研修については、研究所主催として、図書委員会で対応することにしたとの報告があった。

② 大型コレクションの募集について推薦依頼があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長より、

① センターの業務の移管について各委員会に検討をいただいているとの報告があった。

② 共同利用・共同研究拠点から外れた今後のセンター機関推進プロジェクトの再構築について、各教員のご意見を伺いたいので協力願いたいとの依頼があった。

7) G J S 委員会

特になし

8) 評価委員会

名和委員長より、資料P 2 5～2 6に基づき教員評価に係る評価書の作成について説明があった。

9) 環境安全管理室

名和室長より、通勤時の転倒、年末前に多発する飲酒による事故について注意喚起があった。

10) その他

塚本レクレーション委員長より、本日の夕刻に開かれる創立記念パーティーについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

5. その他

柵屋所長から、年末年始の予定について、12月28日(金)(年内最後の業務日)には年末挨拶を含め行事を予定していないこと、1月4日(金)(年始最初の業務日)は、11時45分から大会議室にて仕事始めの年頭挨拶を行うが、その他の行事は予定していないことの案内があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

該当教員から説明があり、机上配布資料のとおり1件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P27のとおり1件の受け入れが承認された。

8. 人文系共共拠点等研究力強化ネットワーク(仮称)の設立について

柵屋所長より資料P28～31に基づき人文系共共拠点等研究力強化ネットワーク(仮称)の設立の構想があるとの説明があり、本件ネットワークへの参画および設立に向けた協議会合への出席の要否について審議願いたいとの提案があった。審議の結果、参画しないこと、協議会合へも出席しないことが承認された。

9. 連携研究機構「生命倫理連携研究機構」の設置について

中島教授より、資料P32～33および回収資料に基づき、連携研究機構「生命倫理連携研究機構」の設置申請について説明があり、審議の結果、承認された。

10. 教員人事について

柵屋所長から、汎アジア研究部門人事選考委員会より1名の准教授候補者の推薦があった旨説明があり、続けて、同選考委員長より、回収資料に基づき、当該候補者の略歴、研究業績、推薦理由等の説明があった。審議の結果、候補者へ東文研で採用したい旨の働きかけを行うこと、成立した際には、次回、再度審議のうえ、投票を行うことが承認された。

11. 客員教授の称号について

柵屋所長より、平成29年1月19日教授会にて平成31年度新世代アジア研究部門に特任教授として採用することが決定した者に対して、客員教授の称号を付与したい旨提案があり、承認された。併せて、招聘条件については資料P34に基づき、候補者に打診、内諾を得ていること等補足があった。

12. 教員の兼務について

柵屋所長から、資料P35に基づき、来年度の情報学環流動教員3名について、本研究所教員として兼任いただきたい旨の提案があり、承認された。

13. その他

特になし

以上